

「研究開発実行計画」で掲げる技術開発の目標			研究課題名	研究内容	研究期間	担当
「もうかる農林水産業」を実現する技術の開発	市場にひろがる「とくしまブランド」を育成する技術	生産の増大を図る多収技術の開発	国産ヒジキの産地化を実現するヒジキ養殖技術の開発	海部郡沿岸でのヒジキ養殖を定着させるため、高品質ヒジキの生産技術を開発するとともに、品質向上や夾雑物対策、収穫時の判断等の技術を開発する。	H24～26	環境増養殖
			小松島市和田島地区のワカメ産地強化に向けた生産技術の開発	高水温化の影響等から生産量が減少している和田島地区の漁場環境に適した新たな優良品種を開発するとともに、品種を活かすための生産技術を開発する。	H25～27	環境増養殖
			とくしまの海海藻増産事業	天然わかめ、ひじき等の十分利用の進んでいない天然海藻資源については有効活用を促進することにより、漁業者の新たな収入源を創出する。	H25～26	環境増養殖
			FRP製高揚カッターボードとミニ立ち網の開発・実証試験	軽量で安価なFRP製HLTDとミニ立ち網を開発し、同時に現場への普及を図ることで漁獲量と漁業収入の向上を目指す。	H26～28	海洋生産技術
			「とくしまの活魚」小ロット輸送実証事業	市場で高く評価される高品質な徳島県産活魚を「小ロット」「低コスト」で出荷する技術を開発する。	H26～	環境増養殖
			養殖技術研究	養殖漁業の振興を図るため、海藻類の養殖技術研究及び養殖漁場環境の調査を行う。	H12～	環境増養殖
			増殖技術開発研究	磯根資源及び藻場の調査、増殖のための開発研究を行う。	H12～	環境増養殖
	生産性を高める省力・低コスト生産技術の開発	資源管理に必要な情報提供事業	新漁業管理体制下での適切な操業支援、調査体制の整備を図るため、沿岸域における漁海況情報の収集・分析・提供を行うとともに、地域レベルでの情報の提供を行う。	H9～	海洋生産技術	
	食の安全性を高める総合的な病害虫管理技術の開発	病害対策研究	魚類の病害の診断及び治療法を確立する。	H12～	海洋生産技術	
	消費者の健康志向に対応した生産技術の開発	漁場環境保全対策調査研究	養殖漁場における水質及び底質の推移を把握し、その結果を基に適正な漁場利用を促進する。	S54～	環境増養殖	
		赤潮対策技術開発試験費	播磨灘における赤潮被害を防止するため、近隣県と共同で有害プランクトンの出現動向等を調査する。	H11～	環境増養殖	
	地球温暖化等から農林水産業を守る技術の開発	漁場環境監視等強化対策事業	赤潮、貝毒の被害防止対策を実施する。	S54～	環境増養殖	
		磯焼け対策緊急整備事業	播磨灘南部及び阿南地区に造成された藻場を対象に、食害対策や浮泥対策、種苗供給等の必要な措置を施した後、モニタリングを実施する。	H19～27	環境増養殖	
		新たなノリ色落ち対策技術開発	冬季の水温上昇と栄養塩の減少に伴うノリ・ワカメの色落ち発生に対応するため、栄養塩減少の要因及びワカメの色落ちのメカニズムを明らかにし、色落ち対策技術を開発する。	H22～26	環境増養殖、海洋生産技術	

「研究開発実行計画」で掲げる技術開発の目標			研究課題名	研究内容	研究期間	担当
「もうかる農林水産業」を実現する技術の開発	市場にひろがる「とくしまブランド」を育成する技術の開発	地球温暖化等から農林水産業を守る技術の開発	漁場生産力向上のための漁場改善実証試験新たなノリ色落ち対策技術開発	瀬戸内海沿岸域では、冬季の水温上昇と栄養塩減少に伴い、ワカメ、ノリの色落ちの発生頻度が高まっている。瀬戸内海東部海域の関係機関が共同で色落ちの原因解明と実証試験を通じて適正な栄養塩供給手法を開発する。	H25～29	環境増養殖
	市場をひろげ新需要を創出する技術の開発	農林水産物の付加価値を高める技術の開発	「とくしまの活魚」小ロット輸送実	市場で高く評価される高品質な徳島県産活魚を「小ロット」・「低コスト」で出荷する技術を開発する。	H26～	環境増養殖
			アワビ・アオリイカの価値を高める加工・流通システムの開発	低価格で取引されがちなアワビ・アオリイカのいわゆる「すそもの」の価値を高めるための加工・冷凍技術を開発する。	H25～27	海洋生産技術
研究開発を支える基礎調査、遺伝資源の保存と優良種苗等の供給	新技術の開発や研究を支える継続的基礎調査		漁業資源対策研究	小型底びき網等の標本船調査及び主要漁協の漁獲統計調査と過去の情報を合わせたデータベース化により、紀伊水道域の漁業資源の動態をモニタリングする。	H13～	海洋生産技術
			河川生産力有効利用調査研究	吉野川におけるアユの資源量調査の実施により、河川資源の有効利用に資する。	H12～	環境増養殖
			資源評価調査	ABC(生物学的許容漁獲量)の決定と対象魚類の資源状態の把握を目的として、県内主要漁協における漁獲量やそのサイズを調査する。	H10～	海洋生産技術
			小型底びき網及び船びき網等の主要漁業種に関する調査研究	小型機船底びき網漁業を対象にした資源回復計画の実効性を把握するため、主要魚種の資源状況調査を行うとともに、自主的な資源管理の取り組みを支援する。	H17～	海洋生産技術
	遺伝資源の保存と優良種苗・種畜等の供給		カワバタモロコ種苗生産試験	絶滅危惧種であるコイ科の淡水魚・カワバタモロコの保護及び増殖を目的とした種苗生産を実施する。	H19～27	環境増養殖